



福島市 「子ども議会」開催 一小6年生 堂々の代表質問！

7月4日、福島市役所の議場において本当の議会さながらに「子ども議会」が開催されました。福島市内の全小学校の代表及び市政を担う市長はじめ各部の部長が一堂に会し、福島市の未来を創る子どもたちの社会参画意識を高めるとともに、行政が子どもたちの意見を聞き現在及び未来の市政を考える契機としているもので、すでに20年以上続く歴史ある事業です。



本校からは、6年生1名が参加し、代表質問者6名の内の一人として堂々と質問をしました。内容・態度共に大変立派だったと他校の先生方からもお褒めの言葉をいただきました。

質問は「市の待機児童対策の現状と今後のビジョンについて」。昨年10月時点で全国ワースト31位の待機児童数であった福島市。働きたいが子どもの預かり先がなく働きにでられない具体的な事例から、待機児童対策の進捗状況と待機児童ゼロに向けた対策について質問しました。

<議場での 代表質問の様子>



<質問に答えるこども未来部長>

<議席で説明を聴く>

<市長と記念撮影>

今年度は、市長提案理由説明として市長から市政の現状についての説明があったり、議員提出議案提案理由説明として代表質問以外に子ども議員からの市政への提言があったり、感想発表があったりと、例年とは異なった試行があり、小学生にとって市政がより身近に感じられる構成となっていました。学年や学校においても今回の経験を伝え、みんなで住みやすい福島市を創るために市民の一員として何ができるか考える契機としたいと思います。

土壌収集・運搬工事進捗状況

現在も、土壌の掘り起しとフレコン作業が続いています。特設水泳部の活動も始まりました。子どもたちは校舎内外で元気に生活しています。
(放射線量 0.092 μ sv/h 15:15 測定)

